



テザリング検出バイパスインターフェイス ID

- [機能の概要と変更履歴 \(1 ページ\)](#)
- [機能説明 \(2 ページ\)](#)
- [tethering-detection bypass interface-id の設定 \(2 ページ\)](#)
- [モニタリングおよびトラブルシューティング \(3 ページ\)](#)

機能の概要と変更履歴

要約データ

該当製品または機能エリア	P-GW
該当プラットフォーム	• ASR 5500 • VPC-DI • VPC-SI
機能のデフォルト	無効：設定が必要
このリリースでの関連する変更点	N/A
関連資料	<i>Command Line Interface Reference</i>

マニュアルの変更履歴

改訂の詳細	リリース
テザリング検出バイパスメカニズムは、複数のインターフェイスをサポートするよう拡張されています。	21.24.2

機能説明

P-GW では、テザリング検出機能により CLI を介して最大 10 のインターフェイス ID がサポートされ、サブスクライバをテザリングルールからバイパスできます。テザリングされたデータフローが設定済みの IPv6 インターフェイス ID とともに着信する場合、P-GW はテザリングからそのデータをバイパスします。P-GW では、テザリング検出バイパスリストからすべてまたは複数のインターフェイス ID を削除することもできます。

tethering-detection bypass interface-id の設定

複数のインターフェイス ID を追加、除外、または削除するには、次の設定を使用します。

```
configure
  active-charging-service service_name
    [ no ] tethering-detection { bypass interface-id ipv6 ifid | tac-db
bypass interface-id ipv6 ifid }
    default tethering-detection
  exit
exit
```

注：

- **tethering-detection { bypass interface-id ipv6 ifid }**：複数のインターフェイス ID を設定します。最大 10 のインターフェイス ID を設定できます。

複数のインターフェイス ID の例：tethering-detection bypass interface-id
 00-00-00-05-47-00-37-44 00-00-00-05-47-00-37-45
 00-00-00-05-47-00-37-46
 00-00-00-05-47-00-37-4700-00-00-05-47-00-37-48
 00-00-00-05-47-00-37-49 00-00-00-05-47-00-37-50
 00-00-00-05-47-00-37-51 00-00-00-05-47-00-37-52
 00-00-00-05-47-00-37-53

- **default tethering-detection**：インターフェイス設定をすべて削除します。
- **no tethering-detection bypass interface-id if-id1 if-idn**：指定された *if-id1* および *if-idn* インターフェイスが設定されている場合は、削除します。

インターフェイス ID が存在しない場合は、設定されたすべてのインターフェイス ID が削除されます。

- **tac-db bypass interface-id ipv6 ifid**：指定されたインターフェイス ID の TAC-db ルックアップを有効にします。

設定の確認

テザリング検出バイパスインターフェイス ID の設定を確認するには、次のコマンドを使用します。

- **show configuration**
- **show configuration verbose**

設定を確認するためのコマンド例を以下に示します。

```
configure
  active-charging-service service_name
    tethering-detection { bypass interface-id ipv6 ifid }
  exit
exit
```

モニタリングおよびトラブルシューティング

ここでは、テザリング検出機能に使用できる show コマンドに関する情報について説明します。

show コマンドと出力

この項では、テザリング検出属性の現在の設定を表示する show コマンドと出力について説明します。

show active-charging-tethering-detection statistics

このコマンドの出力には、次のフィールドが含まれています。

- **Total flows bypassed for scanning** : 設定されたインターフェイス ID でフローがバイパスされると、Total flow bypassed for scanning カウンタの値が増えます。

show active-charging-tethering-detection statistics

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。